第２回　松本第二中学校２２回 松本県ヶ丘高校第２回卒業　県二会

母校愛のリレー事業　創成期をふりかえる

■昭和55年１月

県二会新年会にて卒業30周年記念事業を起案、実行委員（有賀正・石井基・加藤寿昭・中島博・手塚博夫・山元政幸・坂井広昭）を選出した。第１回卒業生から第５回卒業生の各代表により卒業30周年記念事業委員会を開き、正式に同窓会の記念事業として発足。

■昭和55年

県二会盛大に記念事業　卒業30周年を記念して卒業生224名より寄付を募り、図書券30万円他20万円計50万円を藤森慎学校長に寄贈した。

同期生による講演会を計画するも、実行直前に国鉄のストライキのため頓挫の止むなきに至る。

卒業生母校寄贈リレー

30周年の松本県ヶ丘高（第二回）が図書券を

懐かしい校舎に集まり寄贈目録を手渡す松本県ヶ丘高OB

図書券50万円を寄贈

■昭和55年８月２日

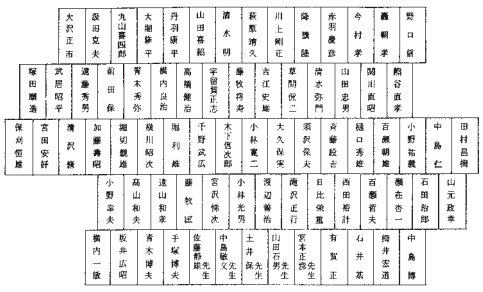
14：00　記念撮影
小松武平（初代）校長
頌徳碑前で

旧本館と小松先生碑

15：00　追悼供養
伊勢町浄林寺にて
今は亡き同窓の友を偲び、
同期生物故者に追悼のことば
奉呈（御遺族とともに）

卒業当時のクラス担任恩師をお招きして
三浦重雄、佐藤静雄、中島敏文、土井保、
宮本正彦、山田石男先生を囲む

18：00　懇親会
浅間温泉湯本屋ホテル



活躍した県二会の郡像

有賀　正　元松本市長（旭日中綬章）受章
現県ヶ丘高等学校同窓会長

深澤成嘉　元日本鋼管NKK副社長（東大卒）

丹羽康平　元松本市医師会会長（信大医卒）

原　徳安　元大阪府総務部長（旭日小綬章）受章（東大卒）

汲田克夫　大阪教育大学名誉教授（東大卒）

樋口秀雄　同志社大学名誉教授（同志社大卒）聖徳大学教授
アーモスト大学日本代表（W･S･クラーク博士の母校）

千村洋一郎　元東京女子体育大学、短期大学教授（東大卒）

山田喜紹　信州大学医療短大名誉教授（信大卒）エイズ研究者

栂井宏道　正覚院、保護司（瑞宝・双光章）受章（中央大卒）

石井　基　（老舗）石井味噌店（慶応４年創業）（立大卒）

千野武広（故）　松本歯科大学病院長、副学長、
松本歯科大学名誉教授（大阪大、九州大卒）

中島　仁　元松本警察署長

細川　磐　大阪体育大学名誉教授（瑞宝中綬章）受章
京都府スポーツ賞（特別栄誉賞）（東京教育大卒）

吉江信夫　筑波大学医学部名誉教授（信大医卒）

清澤　修（故）　京都薬科大助教授（京都薬科大卒）薬学博士

公職、教育界、経済界等にて活躍、秀峰多士済々（敬称略）

出身校

（国公立校 99名）
信州大学62（医学系大）８（薬学系大）３、山梨大３ 東京大学４
北海道大３ 東京教育大３ 東工大１ 他12

（私立大 45名）
早稲田大13 中央大10 法政大４ 立教大４ 明治大３ 日本大３
国学院大２ 他７

県二会提案「母校愛のリレー」が、一期会、三陵会、四期会、二八会の賛同を得て「スタート」を切って早や三十年。私達一人ひとりに出来るのは、この愛のタスキ（聖火）を次から次へと、確実に手渡していくことだけ。だが、その平和の火はいずれ果てしない「ゴール」を照らし出すだろう！

「未知の世界を探求する人々は、
地図を持たない旅人である。」
湯川秀樹

responsibility for an article H.Sakai